

三世代の神

2011年8月28日 リバイブ・イスラエル・ミニストリーズ

神にはたくさんの御名があります。そのご自身の御名の一つはアブラハム、イサクそしてヤコブの神です。出エジプト 3:6 -わたしは、あなたの父の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。

この「御名」には、何層もの意味があります。第一に、神は人類と個人的な関係を持つと約束されました。主と共に歩こうという意思がある者に主は同一視され、またパートナーシップを形成されるのです。

第二に、神はまたヤコブの子であるイスラエルの民に対する忠実さを持っておられます。置換神学にもかかわらず、ユダヤ人に対する神の忠実さがなければ、御国はないのです。

第三に、神は数世代、とりわけ三世代を通して働かれます。実際、もちろんのことながら、主は数千もの世代に対しても忠実であります（出エジプト 20:5-6、34:6-7）。主の忠実さは永遠です。しかし、主の契約に対して三またはそれ以上の世代が忠実である時、特別な働きがあるのです。



添付したこの写真は奇跡を表しています。ここに4人の父たちが赤ん坊と共にいます（レヴ、イントレーター、ムーア（ジャスター）そしてショシャニ）。全員がメシアニックジューです。全員が二世代である父親たちです。赤ん坊の全員が三世代です。彼らは預言的な印なのです（イザヤ 8:18）。

彼らのような人々は大勢います。イスラエルのこの第三、第四世代のメシアニックジューが神の古代の契約の力を解放し、イエシュアの再臨と神の御国の回復の先駆けとなると私は信じています。

何か奇妙な

マイケル・ブラウン

同性愛の課題を詳述し、それに関して理論的に回答しているブラウン博士の新しい本、「アメリカに何か奇妙な事が起こっている」が出版されたばかりです。以下、いくつか引用します。

- 異性愛の正常な代替としての同性愛の合法化は、同性愛的行動に対するすべての反対を非合法化するものである。

- 同性愛はかつて病的なものとして考えられてきたが、ここより同性愛を認めない者は同性愛嫌悪者と見なされる。
- 同性愛的行為はかつて倫理上誤りであると考えられてきたが、ここよりその行為に公に反する行為こそ倫理上の誤りとして見なされる。
- 第一に、同性愛活動家がクローゼットから出てきて、第二に彼らは自分たちの「権利」を要求してきた。第三に、彼らは皆が彼らの「権利」を認知すべきと要求し、第四に、彼らに反対する者の権利を剥奪したいと思っている。第五に、彼らの「権利」に反対する者をクローゼットに入れてしまいたいと思っている。
- ここより、「多様性」を受容するということは、いかなる同性愛的表現を受容するという意味となるが、これらの方向性に対して受容しないすべての種類の宗教的、倫理的信念は排除される。
- ここより、「嫌悪」は同性愛受容の方向性とは異なる態度を取ることを意味し、そして同性愛は事実上憎悪発言の容疑から免除される。それは、彼らが犠牲者として考えられているからであり、彼らが加害者であるとは決して考えられていないためである。

ブラウン博士の本は包括的で十分に裏付けされたものです。詳細はこちらをクリックして下さい。

www.aqueerthing.com

さらにポスターが

今週、また反メシアニックジューのポスターがメヴアセレットの街のあちこちに現れ、それには地元
の9人のメシアニックジューの写真(その内4人はリバイブ・イスラエルのメンバー)が載せられました。
何人かの超正統派ユダヤ人がそのような低レベルの戦術を使って私たちを中傷することは悲しい
ことです。しかし、私たちが感じることは、このような行為は基本的に裏目に出ており、私たちの
信仰を彼らが気づかずに宣伝することにより、実際に私たちを助けているのです。神は私たちの理解
を超えた方法で働かれます。

イスラエルに対する中傷報道

先週の、シナイ半島を通過してガザにやってきたテロリストによるイスラエルに対する攻撃に関し、国
際メディアは、それはイスラエルの武力侵害(?)であると非難しました。攻撃の元そして無実な一般
市民を殺害するという意図的な目的は見過ごされた様子です。テロリストや彼らの本部、そして彼ら
の指導者らを殲滅するというイスラエルの対応はイスラエルが和平努力を挫折させる一例であると
表現しています。

真理の愛

アシェル・イントレーター

上記の三例、同性愛の件、メシアニックジューへの迫害、そしてメディアによるイスラエルへの中傷は偽りと悪口の鍵となる領域です。真理はねじ曲げられ、偽りが真理として表現されています。善が悪として表現されています(イザヤ 5 章)。終わりの日に、真理に対する大がかりな攻撃が加えられるのです。

イザヤ 59:14 -真理は広場をつまずき、正直は中にはいることもできない。

ダニエル 8:12 -その角は真理を地に投げ捨て、ほしいままにふるまって、それを成し遂げた。

真理の源は人にあり、それはイエシュア (イエス)ご自身です。(ヨハネ 14:6)。この真理を知ることにより、人を霊的そして倫理的に自由にすることができます (ヨハネ 8:32)。真理を見つけるためには、自己中心的な野心を超えて、真理を愛することを欲する必要があります (II テサロニケ 2:10)。私たち教会、エクレシア(集会)として、この世の中での信仰共同体として召し出されるのは、真理や倫理性の価値観を守り、宣言するためです (I テモテ 3:15)。神が、私たちを主の御言葉の真理を宣言し続けるために強くなること、その一方で常に私たちの周りにいる人々を愛するよう、助けて下さいますように (エペソ 4:15)。

ヤッド・ハシュモナ

先週述べたように、現在のヤッド・ハシュモナでの居住区の開発以上の神の御国に対する投資はないと考えています。ここは世界で唯一のメシアニックジューのキブツなのです。さらなる詳細は[こちら](#)をご覧ください。(英語)